

医薬品・医療機器等安全性情報

No.287

ダイジェスト

平成24年(2012年)1月
[厚生労働省医薬食品局]

医薬品・医療機器等安全性情報No.287が発行されました。その概要は以下のとおりです。詳細は次の雑誌に掲載されますので、関連症例等についてはこれらをご参照下さい。

日本医師会雑誌(3月号)(1,2のみ)

日本病院薬剤師会雑誌(3月号)

日本薬剤師会雑誌(3月号)

診療と新薬(2月号)

なお、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能です。

1. ラモトリギンによる重症薬疹と用法・用量の遵守について

ラモトリギンの投与において、定められた用法・用量を超えて投与した場合に皮膚障害の発現率が高いことが示されており、「用法・用量」の厳守をお願いしているが、報告された重篤な皮膚障害症例の中には、「用法・用量」が遵守されていない症例が認められている。その状況、安全対策について紹介する。

2. 在宅酸素療法実施中の火災による死亡事故について

在宅酸素療法を実施している患者において、喫煙などが原因と考えられる火災により死亡する事故が繰り返し発生しており、平成23年にも5例の火災による死亡事故が報告されている。在宅酸素療法を受けている間はたばこを吸わないこと、また、酸素濃縮装置等の周辺にストーブ等の火気を近づけないことなどについて、医療関係者、患者やその家族等に、改めて注意徹底をお願いしたい。

3. 市販直後調査の対象品目一覧

平成24年1月1日現在、市販直後調査の対象品目を紹介する。